

# かごしま

農山  
漁村

# 生活体験学習の すすめ

…… 体験型教育旅行ガイドブック ……



# 体験型教育旅行の流れ

鹿児島県内では、2003年より農家等の受入家庭での体験や宿泊を伴う教育旅行(修学旅行)の受入が行われています。鹿児島県は、全国第2位の農業産出額をほこる農業がとても盛んな地域です。また西に東シナ海、東に太平洋、県本土の中央に鹿児島湾(錦江湾)という海にも囲まれており、南には島々が長く連なる自然豊かな場所でもあります。

## 前後訪問地

鹿児島県には世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産をはじめ、明治維新に関連した歴史物語を伝える史跡、国宝・霧島神宮、ダイナミックな火山活動を体感できる霧島錦江湾国立公園、指宿の温泉地など魅力的な地域があります。また、知覧・出水・鹿屋などでは太平洋戦争中の特別攻撃隊の物語を伝える平和教育プログラムも充実しています。アクセスポイントとして本土中央部に鹿児島空港、新幹線の発着駅として鹿児島中央駅・川内駅・出水駅があり、高速道路も各地域を結んでおり、二つの半島を隔てる錦江湾をフェリーで移動するのも絶景を楽しめるのでおすすめです。詳しくは鹿児島県教育旅行受入対策協議会にお問合せください。

鹿児島県教育旅行受入対策協議会(鹿児島県観光連盟)  
Tel.099-297-6110 Fax.099-285-2555  
[https://www.kagoshima-kankou.com/houjin/study\\_article](https://www.kagoshima-kankou.com/houjin/study_article)



## 他訪問地より移動

訪問する生徒さんたちはもちろん、受入家庭の皆さんにとっても新しい出会いに少しドキドキする時間です。



## 生徒さんと受入家庭さんの対面

受入家庭の皆さんは少し不安な生徒さんたちを和ませてくれるでしょう、お互いを知る大切な時間です。



## 受入家庭へ移動

これから過ごす受入家庭での過ごし方のルールや、部屋の案内、周辺の様子などを受入家庭さんが伝えてくれます。



## 1日目(到着日)

## 体験活動等

受入家庭によってそれぞれの体験メニューや楽しみ方があります。生徒さんたちはここで田舎暮らしの魅力や農業の大切さなどを学びます。



## 夕食づくり・夕食

食事も大切な交流の時間のひとつ。受入家庭の鹿児島らしい日常の食は温かく心に残るものばかりでしょう。



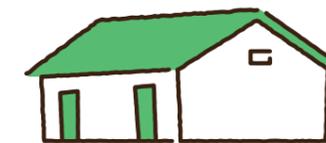
## 朝食

少し早起きしたら田舎の朝日に出会えるかも。朝食も共同調理でおいしくいただけます。



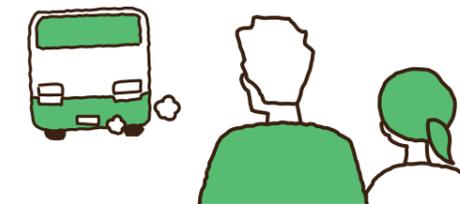
## 移動

短い時間でしたが、一緒に過ごした時間をお互いに振り替える時間。



## 生徒さんと受入家庭さんのお別れ

一生に一度の教育旅行での出会い。お互いに「元気で過ごしているかな」と気にかける存在となることでしょう。

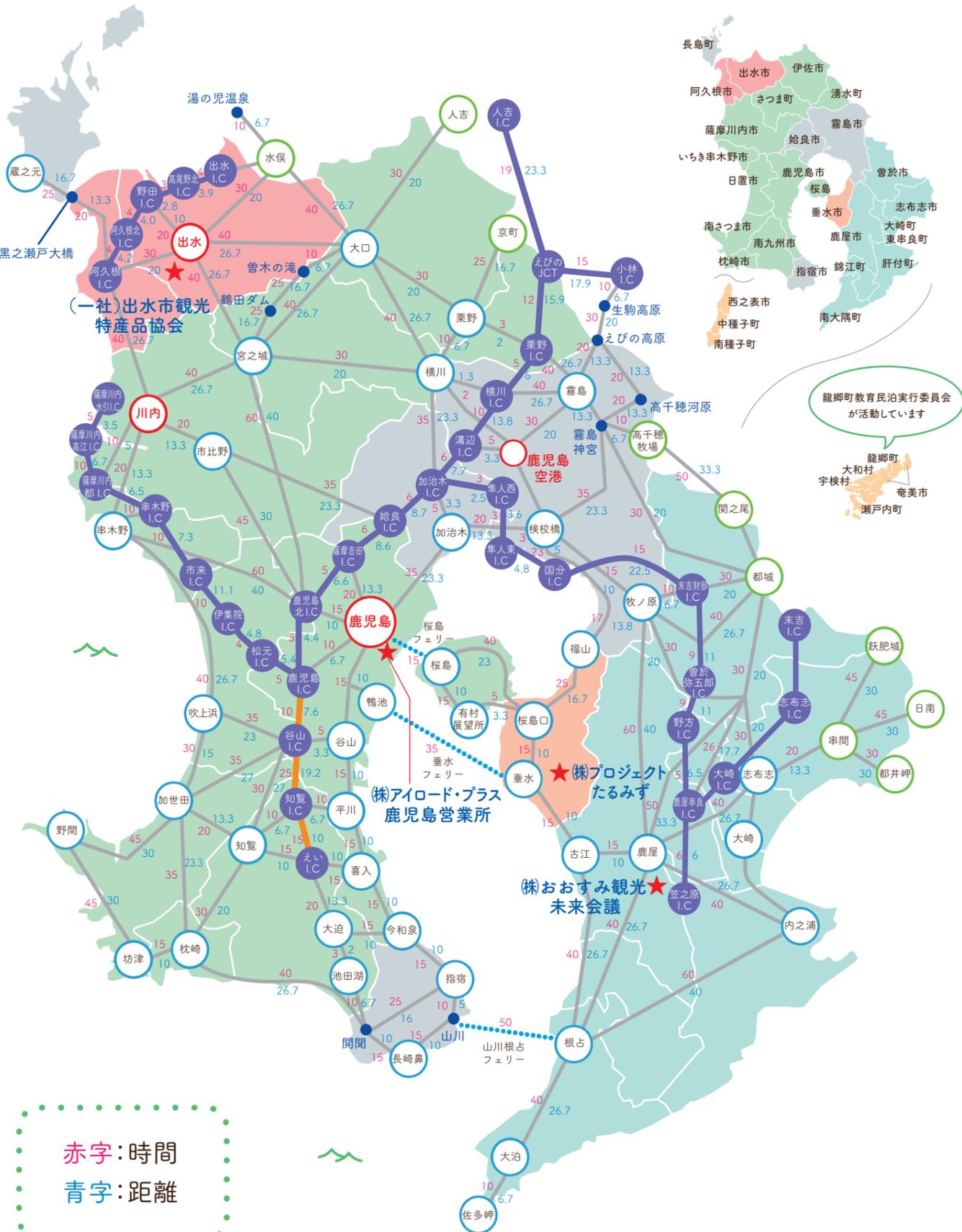


## 2日目

### 安全対策について

鹿児島県内では「鹿児島県における農山漁村生活体験学習に係る取扱指針」に沿って受入を行っており、受入家庭は年に1回以上の市町村等安全対策講習会を受講するなど、安全対策につとめています。

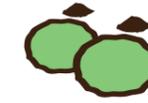
## 拠点間のバス・車移動 所有時間・距離表地図



鹿児島の農業や漁業について体験を深めるとともに、鹿児島の文化や歴史をより深く知る為の施設等も充実しています。組み合わせて訪れてください。

## 柑橘類

かつて日本で一番よく食べられていた果物・温州みかんは、長島町が発祥の地です。栽培面積全国一のタンカン、全国2位のキンカンが民家の庭先などにも植えられていることが多く身近な果物です。  
桜島で栽培される桜島小みかんは世界で最も小さいみかんと言われています。



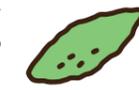
## お茶

令和6年、鹿児島県の荒茶生産量は静岡県を抜き全国1位となりました。  
日本一のお茶生産量を誇る市、南九州市をはじめ、各地で美しい茶畑の風景を楽しむことができます。  
温暖な気候と平場から山間部にかけての多様な土地を生かして、3月末から10月までの長い期間の収穫が行われています。



## さつまいも

宝永2(1705)年、指宿市山川の前田利右エ門によって琉球からサツマイモがもたらされました。鹿児島では唐(=中国)のイモということで「カライモ」と呼びます。カライモは水はけのよい鹿児島の土壌になじみ、米づくりには決して適していなかった鹿児島において人々を飢えから救う食べ物になりました。その後カライモは幕府の蘭学者・青木昆陽によって将軍に献上され、全国で奨励され薩摩のイモ「サツマイモ」と呼ばれるようになりました。今でも全国第1位を生産量を誇ります。



## 鹿児島の水産業・林業

### 漁業

鹿児島県の海岸線は総延長が全国第3位、令和6年のウナギ、ブリ、カンパチの養殖業生産量が全国一位、ミナミマグロの漁獲量は全国二位、カツオ節生産量も全国一です。

### 林業

令和6年の鹿児島県の森林面積は588,683haで、県土の約65%を占めます。竹林面積は18,000haあり全国一、タケノコの生産量は全国2位と、緑豊かな土地が魅力です。



## 鹿児島の畜産

令和4年に全国和牛能力共進会が鹿児島県で開かれ、全9部門のうち、6部門で一位(農林水産大臣賞)を受賞する等、「和牛日本一」の栄冠に輝きました。  
さらには、肉用牛(黒毛和種)の飼育頭数、ブロイラー飼育羽数、豚飼育頭数いずれも全国一を誇っています。



## 鹿児島の田んぼ

山林が多く大きな川も少ない鹿児島県では、平野だけでなく、谷あいや斜面地にも田んぼを拓いてきました。稲作に適した土地が得難かった為か、江戸時代から田んぼの神様を石で作る畔などに祀る風習が見られ、現在でも2000体以上が確認されています。旧薩摩藩領(鹿児島県と宮崎県の一部)にだけ見られる珍しい風習で、稲作に対する先人たちからの思いを感じることができます。



## みんなまっちょっど、 わがえごしやんせな

(意味: みんなで待ってますよ、自分のおうちのように過ごしてね)

一軒一軒の受入家庭さんがそれぞれに熱意と思いをもって受入を行っています。



寺田 芳照さん 薩摩川内市

### 「楽しい」をみんなで作ってあげたい

**自** 宅には「芳工房」の看板が掲げてあります。みんなでワイワイいろいろな物を作っていくのが好きです。また子どもたちが例えば裏山の竹林から竹を切り出す、といった体験を通じて、何かやり遂げた時にガラッと顔が変わる。そういった瞬間に立ち会えるのがうれしいですね。家の周辺の菜園、周辺は四季を存分に味わえる場所です。妻の手描きの作物名のプレートなども見てほしいです。薩摩川内市では月に一回の「農縁」という体験プログラムの提供を行っています。各受入家庭さんが様々な体験ができるように、常にスタンバイしています。とにかく楽しいでほしい!と思っています



森菌 悦子さん 南九州市

### みんなが気軽に集える場所でありたい

**主** 人の仕事の定年後にUターンで地元に戻り、友達に誘われて受入を始めました。菜園畑には四季折々の花や野菜、果物等をたくさん植え、修学旅行生に野菜の育て方を教えたり、一緒に収穫したものを使って郷土料理やパン作りをしたりして、手作り野菜を味わいながら食の大切さを感じてくれればと思っています。庭には夫が作成した念願の「もりりん家」があります。地域の人たちや誰でも集え、田舎暮らしに人との繋がりや活力を頂ける所にと、井戸端会議を楽しみ、受入をした子供たちも気軽に戻って来られる場所になればいいなと思っています。



楠元 良彦さん 出水市

### 食の大切さをひとつひとつ伝えたい

**受** 入家庭をしていた方から誘われて始めました。元々は兼業農家でしたが、米と野菜の専業農家となり、農業や化学肥料を使わない自然農法で育てています。体験にこられる生徒さんたちには、こうした栽培された自然の恵みいっぱいの作物の本来の味を味わってほしいという思いがあります。ごはんがおいしいと言われてるのがとてもうれしいですね。また、楽しいと体験しつつも何か学んで感じ取ってほしいなという気持ちです。受入を通じて、食の大切さを伝えていきたいです。出水も農業が盛んな土地ですので、食のまちとして市全体の取組にもなってほしいと思っています。



有村 由美子さん 鹿児島市

### みんなの鹿児島のおばあちゃんになりたい

**主** 人と二人で立ち上げたお茶農家です。茶畑での生産と加工する工場の運営をしています。昔は食材はもちろん何でも自分たちで作る、賄うというのが普通で、そうした母の姿を見て育ったので、四季それぞれに畑で育ったものを生活に役立てていく知恵のようなものを少しでも伝えたいという思いがあります。ですから体験することがないということはないですね。また鹿児島はお茶の産地なのでおいしいお茶の淹れ方は必ず伝えるようにしています。そしておうちの人に淹れてあげてねと伝えていきます。都会の生活しかない人の、「田舎」のおばあちゃんになりたい、という気持ちで受入をしています。



大迫 操子さん 垂水市

### 自分も子どもの気持ちになって過ごす大切な時間

**垂** 水市で受入が始まった時から続けています。4人の子育てを通じてそれぞれの子の友だちが遊びにきていて、家の中は常に賑やかな環境でした。受入で子供たちと接することが好きですし、今は自分もその年頃に戻ったような気持ちになって一緒に楽しむことにしています。いろいろなもの手作りするのも楽しみのひとつで、おやつも手作りのものばかりでしたから、受入の際は郷土菓子を作ってもらったり、一緒に近くの海を見に行ったりして過ごします。修学旅行は一生に一度ですから、心に残る時間を持ってほしいと思って受入れています。



堀之内 節子さん 鹿屋市

### 旬の食べ物の味を知ってほしい

**農** 家民宿「元気印の菜園畑」を平成19年に開業しました。以来一般のお客様や修学旅行生など、皆様との楽しい交流が続いています。野菜農家なので体験活動はもちろん、旬の野菜の美味しさ、本物の味を知ってほしいと思っています。そして、動物や野菜や米の命を「いただきます」という意味を真から理解してほしい、日本の農村・農業の実情にも目をむけてほしいと思います。



花北 好子さん 志布志市

### 子供たちと過ごすのも一緒に食べるのも楽しみ

**い** つか料理を提供する仕事をしたいと若い頃にいろいろな飲食店で働きました。また、保育園に勤め今のような制度がない頃に託児施設を営んでいたこともあります。子どもたちと過ごすのは大好きですね。イチゴの栽培を手掛け始めた頃に縁があって「九州ツーリズム大学」で学んだことが後押しになり農家レストラン・農家民宿を開業。並行して修学旅行の受入も長年続けています。志布志は一度来ていただけたら海があり山があり自然が豊かできっと気に入っていただける素晴らしい場所です。ぜひいらしてください。

# 鹿児島県における 体験型教育旅行受入団体

## 問合せ先

エリアによって受入団体が異なります。詳しくは各団体にお問合せください。

### (一社)出水市 観光特産品協会

問合せ先 出水市上鯖淵 715-16

TEL. **0996-79-3030**

FAX. **0996-79-3037**

info@izumi-kankou.main.jp

<https://izumi-nouhaku.jp/>



### (株)アイロード・プラス 鹿児島営業所

問合せ先 鹿児島市名山町1-3 85号室

TEL. **090-2413-9917**

FAX. **0985-44-2404**

michikusa@okunippon.net

<https://www.iroad-plus.com/kagoshima/index.html>



### (株)プロジェクトたるみず

問合せ先 垂水市田神 2978-11

TEL. **090-7380-8854**

FAX. **0994-32-7890**

info@minpaku.trmz.jp

<http://www.minpaku.trmz.jp/>



### (株)おおすみ観光未来会議

問合せ先 鹿屋市北田町 8-8

TEL. **0994-35-1266**

FAX. **0994-35-1277**

info@oosumi-kankou.com

<https://oosumi-kankou.com/>



そのほかのお問合せは

## かごしまグリーン・ツーリズム協議会

問合せ先 〒892-0841 鹿児島市照国町 10-21 <http://kagoshima-gt.net>

TEL. **099-227-5343** FAX. **099-295-3133**